

米国特許商標庁が2016年度版の年報を公表

2017年1月20日
JETRONY 知財部
今村、丸岡

米国特許商標庁(USPTO)は、同庁における年次報告書「Performance and Accountability Report Fiscal Year 2016」を公表した。

1. Michelle K. Lee 長官の冒頭コメント

(1) 特許

2009年1月、オバマ政権が始まった頃、バックログは75万件あったものが(年間4パーセントの出願増にも関わらず)現在54万件にまで削減された。あわせて、FA期間も33.8ヶ月から25.3ヶ月となり、25.1パーセントも短くなった。滞貨の問題解消に加えてパテントクオリティサミット¹に代表される様々な品質向上の取り組みを進めていく。

(2) 商標

商標部局も特許と同様に、バックログの解消と審査期間の短縮を目指している。そのために、ITシステムの更新、普及啓発活動、料金改定などを行った。また、新しくIT担当の副局長(Deputy Commissioner for Trademark Administration to support IT, finance, and strategic planning)を設置し、2017年度に大規模なシステム更改を予定している。

(3) 国内施策(のぞく特許商標)および国際施策

著作権局や電気通信情報局と共同で作成したデジタル著作権に関する白書の執筆、営業秘密保護法案の連邦法作成に関与できた事を誇りに思う。加えて、国際会議でも弊庁は存在感を強め、ID5、IP5、TM5はもちろんの事、ブラジル特許庁との特許審査ハイウェイプログラムを開始した。

(4) USPTOに向けた言葉

私は、イノベーションは知財システムにより本当の力を出せると信じており、この信念が私にUSPTO長官就任を決意させた。私が長官として経験した出来事は、この信念を強くさせるものばかりであった。

¹ [20150331 USPTO 第1回特許品質サミット\(Patent Quality Summit\)を開催](#)

これからも、政府とUSPTO職員の更なる挑戦は続く。そしてUSPTOは今まで以上の成果をあげると確信している。

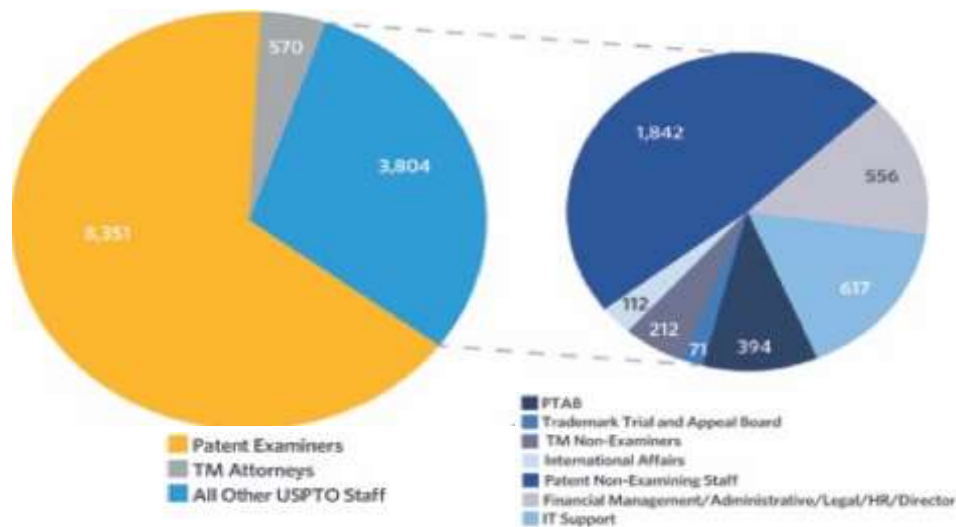
2. 統計からみる今年度の成果

(1) 職員数

サテライトオフィスもすべて立ち上がり、職員数はほぼ同規模を維持している。なお、全ての職員(審査官に限らない)のうち約94パーセントは、在宅勤務の資格を持つ。

| | 12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 職員総数 | 11,531 | 11,773 | 12,450 | 12,667 | 12,725 |
| うち特許審査官 | 7,831 | 7,928 | 8,466 | 8,255 | 8,160 |
| うち意匠審査官 | 104 | 123 | 145 | 171 | 191 |
| うち商標審査官 | 386 | 409 | 429 | 456 | 570 |

<職員の内訳> ※USPTO年報より抜粋



(2) 出願及びバックログの動向

特許の出願数は前年度から微増した一方で、FA期間および最終処分期間は減少した。また、商標は出願件数が引き続き伸びつつも、FA期間は約3ヶ月をキープした。

| | 12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 特許出願件数 | 565,566 | 601,464 | 618,457 | 618,062 | 650,411 |
| 前年比 | 5.3% | 6.3% | 2.8% | -0.06% | 5.2% |
| FA期間(ヶ月) | 21.9 | 18.2 | 18.4 | 17.3 | 16.2 |
| 最終処分期間 | 32.4 | 29.1 | 27.4 | 26.6 | 25.3 |
| | | | | | |
| 商標出願件数 | 415,026 | 433,654 | 455,017 | 503,889 | 530,270 |
| 前年度比 | 4.1% | 4.5% | 4.9% | 10.7% | 5.2% |
| FA期間(ヶ月) | 3.2 | 3.1 | 3.0 | 2.9 | 3.1 |
| 最終処分期間 | 10.2 | 10.0 | 9.8 | 10.1 | 9.8 |

※16年度は暫定値

(3) 歳出歳入

歳入の91.1パーセントは特許関係収入、8.9パーセントが商標関係収入。USPTOの会計は特許(含む意匠)と商標で勘定が分かれており、支出において融通する事ができない。

直近5カ年度の歳入歳出推移(単位:百万ドル)

| | 12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 歳入 | 2,427.1 | 2,719.9 | 3,018.1 | 3,074.0 | 3,133.4 |
| 歳出 | 2,321.0 | 2,540.4 | 2,732.4 | 3,012.8 | 3,119.6 |
| 差分 | 106.1 | 179.5 | 285.7 | 61.2 | 13.8 |

(4) 米国に対する海外からの出願・登録状況

特許の出願件数順位について、日本からの出願件数が最も多い状況に変わりはない(なお、2016年度の出願統計は来年度年報にて公表)。

一方、商標は中国からの出願が急激に増えている。昨年度外国出願1位になっていたが、今年度は登録も一位になっている。なお、商標については会社ごとのランキングも公表しており、外国企業で商標出願、商標登録、ともに1位はLG Electronicsであった。

特許出願・登録件数上位5カ国

| 順位 | 出願件数 | | | 登録件数 | | |
|------|------|---------|---------|------|---------|---------|
| | 国名 | 14年度 | 15年度 | 国名 | 15年度 | 16年度 |
| 1 | 日本 | 89,255 | 89,028 | 日本 | 54,485 | 53,046 |
| 2 | 韓国 | 39,535 | 39,941 | 韓国 | 19,614 | 21,867 |
| 3 | ドイツ | 31,997 | 31,132 | ドイツ | 17,485 | 17,564 |
| 4 | 中国 | 19,006 | 22,374 | 台湾 | 12,315 | 12,737 |
| 5 | 台湾 | 21,915 | 20,561 | 中国 | 8,593 | 10,985 |
| 海外総計 | | 310,472 | 313,411 | 計 | 167,050 | 173,598 |

商標出願・登録件数上位5カ国

| 順位 | 出願件数 | | | 登録件数 | | |
|------|------|---------|---------|------|--------|--------|
| | 国名 | 15年度 | 16年度 | 国名 | 15年度 | 16年度 |
| 1 | 中国 | 14,144 | 28,779 | 中国 | 4,016 | 10,582 |
| 2 | イギリス | 14,061 | 12,796 | イギリス | 4,836 | 4,299 |
| 3 | ドイツ | 12,310 | 12,435 | カナダ | 6,420 | 4,288 |
| 4 | カナダ | 11,585 | 7,159 | ドイツ | 2,478 | 3,875 |
| 5 | 日本 | 6,521 | 6,201 | 日本 | 2,433 | 2,982 |
| 海外総計 | | 125,461 | 141,285 | 計 | 40,864 | 50,980 |

以上